

人形かくれんぼ

「もういいかい」「もういいよ」のやりとりが楽しいかくれんぼ。広い公園なら隠れる場所はたくさんあるけれど、家の中だと大人の体を隠すには場所が限られてしまいます。

今回はそんな時でも楽しめる「人形かくれんぼ」をご紹介します。

用意するもの

- 大人の代わりに隠れてくれるぬいぐるみ、又は人形



子どもが隠れるとき

- ★子どもが隠れるところを見ないようにしましょう。
大人だけでなく、ぬいぐるみも一緒に見ないように気を付ける様子を見せるとより良いです。
- ★「もういいかい」「ま~だだよ」などのやりとりを楽しみましょう。
数を数えるスピードを変えるだけでも楽しむことができます。
- ★隠れているところが分かって素通りしたり、探す素振りをみせたりすると子どもたちの気持ちはより盛り上がるはずです。
- ★事前に隠れては危ない又は隠れてほしくないところを確認しておきましょう。
(危険個所としては洗濯機や風呂場、隠られる部屋の制限を設けるなど)

ぬいぐるみが隠れるとき

- ★数を数える間(大人がぬいぐるみを隠す間)は目をつぶるなどして目隠しをすることを確認する。
- ★なかなか見つけれないときには大人がヒントを出す。
(例)
 - 「茶色いものの近く」「引き出しもついているところだよ」
少しずつヒントを足していく
 - 子どもが隠し場所の近くを通るときに「あっ!」「ふう~あぶなかった」などと声を出す
 - 左右や数が分かる子であれば「今いるところよりも右側だよ」「そこから大股2歩のところだよ」などの指示も良いでしょう